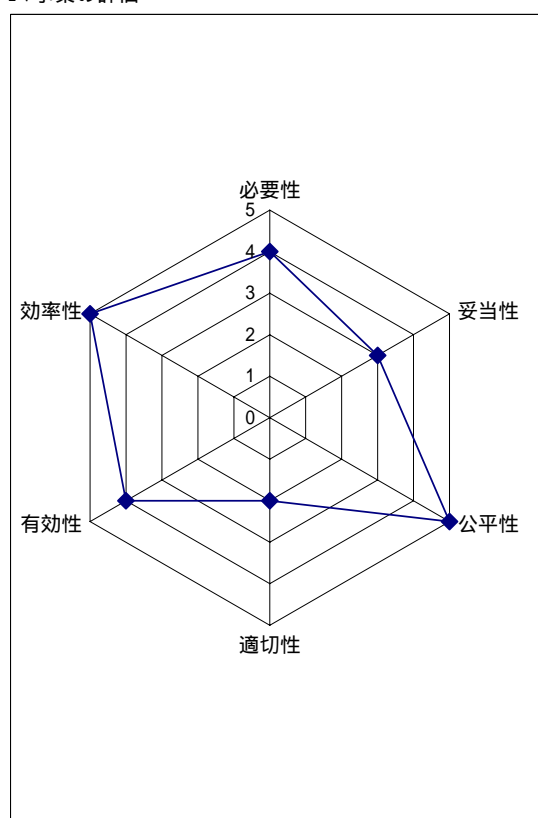


事務事業名	花と緑の街づくり推進事業(ソフト)	担当部局	市長部局 都市建設部
基本目標	美しいゆとりある快適環境と景観づくり(環境・都市基盤)	担当課名	都市計画課
施策体系	その他	担当係名	公園緑花係
施策	その他		

1. 事業内容

事業本来の目的と具体的内容	緑豊かな街づくりと全市公園化構想の実現に向けて、市民とともに緑の住み良い街づくりを推進する。		
事業の期間(開始/終了)	平成4年 4月 / 99年 月		
根拠法令、条例、規則など	都市計画法		
事業が対象としている人(モノ)	啓発事業数	管理団体数	
具体的な活動内容	環境美化功労者の表彰		
	花と緑の街づくり事業(花苗の配布)		
事業の成果	緑豊かな街づくり推進と、全市公園化構想の実現。		
	町の環境整備(緑化等)に対する、住民理解。		

2. 事業の評価



項目	説明
必要性	4 依然、必要性が高い 各管理団体の緑化活動により、確実に緑化は推進されていると考える。しかしながら、緑化推進活動については他催事と統合する等の検討も必要であると思われる。
	3 どちらとも言えない 現在活動している各管理団体は、自主的に活動して、花苗配布を除いては行政が積極的に介入する必要は無いと考える。
公平性	5 広い範囲に対して便益を提供しており、偏りは見られない 花壇は多くの人目の目にふれる所に設置されており、受益者は不特定多数になると考える。
	2 現在のやり方(手段)には、やや問題がある みどりの日イベントにおける環境美化功労者の表彰者数は減少傾向にある。これらの事を踏まえると、手法の再検討も必要ではないかと考える。
有効性	4 概ね目標水準に達している 概ね達成されていると考える。
	5 効率は相当高められている(相当なコスト低減が図られている) 人員削減の中でも、従来と同数の団体を維持しており、人員効率は高いと考える。

総合評価	イベントにおける環境美化功労者の表彰者数が減少してきたため、イベントは開催を検討し、現在の各管理団体と協議しながら、花壇を演出したいと考える。
------	---

3. 今後の事業の方向性

所属長判断	事業の方向性判断	短期的方向	0	中長期的方向	維持継続
	説明	新生児へのハナミズキの無料配布は継続し、イベントは検討する。又、各管理団体と調整しながら、環境の美化、景観づくりを進める必要がある。			
決定権者判断	決定内容	維持継続			
	説明	全市公園化構想の実現に向けて、継続して行なう必要があるが、イベント内容を検討する。			